



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ

地域コミュニティを核とした
天栄だからできる少人数教育

2024.5.17



教育委員会だより No.154

愛村心（I尊心）を育む 天栄村！

発行：天栄村教育委員会

令和6年度天栄村教育方針説明会

令和6年4月18日（木）に、村内幼稚園、小中学校全教職員を対象に、今年度の村の教育方針を伝える説明会を開催しました。

今年度も添田勝幸村長に来賓として出席していただき、村立幼稚園、小・中学校の先生方が一堂に会して行いました。

主催者あいさつでは、長場壮夫教育長が「『村はひとつ・学校はひとつ・願いはひとつ』を合言葉に、自園・校の教育目標を達成するため、一人一人の子どもたちの成長を促す教育を推進していただきたい。」と述べました。

次に、天栄村教育委員会職員と村立幼稚園及び村立小・中学校職員の紹介を行いました。

その後、指導主事より「豊かなこころの育成」「確かな学力の向上」「健やかな体の育成」を中心に、令和6年度に進める教育重要施策の説明を行いました。

天栄村の教育をさらに充実させるためには、幼稚園・小学校・中学校の連携が不可欠だと考えています。子どもたちのさらなる成長のために、教育委員会も各幼稚園・小中学校を全力で支援して参ります。



運動会 がんばりました！

令和6年5月11日（土）に広戸小学校、大里小学校、牧本小学校で運動会が実施されました。翌日5月12日（日）には湯本幼稚園・湯本小学校の園児児童も参加した湯本地区運動会が実施されました。

運動会の中では、参加する種目に全力で取り組む姿や友達に大きな声でエールを送る姿、係活動に責任をもって取り組む高学年児童の姿、負けてしまっても笑顔で拍手を送る姿など、たくさんのすばらしい子どもたちの活躍が見られました。

保護者の皆様、地域の皆様の温かい応援もあり、どの運動会も大成功でした。

運動会で学んだことをこれからの学校生活に生かしてほしいと思っています。



生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択できる環境を整え、「愛村心を育むふるさと教育」を目標に取り組んでいます。そうした村民の主体的な学習活動を支援し、習得した知識を地域へ還元できる人づくりを推進していきます。

〇てんえいアクティビティクラブ×湯本しぜん塾



4月27日（土）、湯本しぜん塾と共同事業で、てんえいアクティビティクラブが開催され、湯本地区内の満願寺などの施設見学とその周辺の野鳥や動植物の生態調査を行いました。

湯本森里研究所の2人に協力いただき、子どもたちはチームごとに、地区内それぞれのチェックポイントにある問題を解きながら、歴史的な建造物や湯本温泉の歴史を学び、ムササビの巣箱の中身を観察するなど生息調査に熱心に取り組んでいました。

〇全国大会出場激励会

5月2日（木）、第46回東日本軟式野球大会（2部）福島県大会において、チーム阿武隈の主力として出場し、優勝を果たした本村出身の芳賀将史選手、芳賀智久選手、大木悠太郎選手、小坂橋翔選手（当日は欠席）が優勝の報告を行いました。阿武隈は日頃から村の総合農村運動広場で練習を重ね、12チームの強豪が集う県大会を制し、5月18日に愛知県で開催される東日本大会に福島県代表として出場します。激励会では、添田村長、瀬和体育協会長から激励の言葉がかけられた後、選手からは、小さいころから村を盛り上げたいと思っていた。初出場となる今大会は、チーム一丸となり自分たちの力を存分に発揮し頑張りたいと意気込みを述べていました。



〇図書室だよりについて

「図書室だより」については令和4年6月号（Vol.73）より、LINEでの配信を行っています。

図書室からのご案内や新着図書のお知らせなど、図書室の情報を簡単に受け取ることができますので、まだ友達登録が済んでいない方はこの機会に右のQRコードからぜひご登録ください。

